

## 会 議 要 録

会議名称 平成24年度 第一回 市史編さん委員会  
開催日 平成24年6月1日(金) 午後1時30分～2時20分  
会場 佐倉市役所1号館3階会議室  
出席者 ・市史編さん委員  
近森正委員 堀越正行委員 高橋三千男委員 白土貞夫委員  
中澤恵子委員 内田儀久委員 岩淵令治委員 鶴澤初範委員  
(事務局 田辺茂彦総務課長 丸島正彦副主幹 土佐博文副主幹)  
記録作成 丸島正彦

### 会 議 内 容

委嘱状交付 市長から委嘱状を交付。任期は、平成24年6月1日から平成28年5月31日まで。

会 議 『佐倉市史』考古編の進捗について

- ・考古編編さんの経過と今年度の予定について(資料①～⑤)  
〔事務局〕  
平成20年6月4日の平成20年度第1回市史編さん委員会にて考古編の編さん指針(資料①)・執筆要綱(資料②)・仕様(規格)書(資料③)が承認され、7月1日から考古編専門部会が組織された。平成21年3月26日の第2回市史編さん委員会で執筆に関する細則(資料④)が確定し、平成22年3月25日の平成21年度市史編さん委員会では、構成内容が再検討され、執筆要綱と細則の一部修正により、現在の本編・資料編という編さん構成に至っている。本編は、序章の「佐倉と考古学」から旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良平安・中近世近代までの計7章、資料編は、市内77遺跡を紹介する遺跡編と、各時代の特徴的な考古遺物と遺跡を紹介する資料集成編という構成になっている。本編及び資料編の原稿執筆者は、8名の専門部会員の他15名の執筆員により、平成22年度からは遺跡編の原稿、平成23年度は本編及び資料集成編の原稿に着手している。  
今年度は、5月12日に第1回考古編専門部会を開催。今年度の事業計画(資料⑤)について確認した。専門部会の開催は年4回で、原稿の編集調整やチェックを行い、平成25年度の刊行に向けて準備を整えていく予定。  
〔白土委員〕  
考古編の構成については、2冊ということよろしいか。  
→ 本編と資料編の2分冊を予定している。(事務局)
- ・「本編」原稿について(参考資料として本編の文章原稿ファイルを回覧)  
〔事務局〕  
本編の原稿は、7月の専門部会で内容等の調整を行う予定であり、現段階では、まだ未調整であり一部については未稿となっている。本編については、序章から各時代となる第1章から第6章までの構成で、コラムや写真、図版がレイアウトされる。特に、各章間の時代の繋がりについては、専門部会でも留意しているところであり、今後の部会において調整・検討を図っていく予定。

〔白土委員〕

湧水の状況や火山の噴火等の写真については、撮影年月日を記載した方が良いのでは。

〔堀越委員〕

県史では、現状写真として掲載したものについては撮影年を示すようにした。

→ 専門部会で協議していく。（事務局）

〔中澤委員〕

市史の巻四編さんの時、他の委員に原稿を読んでもらいかなり参考になった。今後そうした予定はあるか。

→ 本編原稿については、次の専門部会で内容の調整等を図った上で再編集し、改めて各委員にお諮りしたい。（事務局）

〔白土委員〕

執筆員の数が多く、用語や文体等を整える作業が困難と思われるので、できれば早めに原稿等を拝見したい。